

# 島原広域消防本部 指令センターからのお知らせ！

## ◎新庁舎建設に伴い消防事務の一部が変わりました！

- ★今まで火災、救急等の119番通報は、消防署及び各分署で受理していましたが、5月10日から新庁舎の指令センターで、一括して受理することになりました。  
受信地域は、「南島原市」「島原市」「雲仙市（旧国見町、旧瑞穂町）」です。  
携帯電話での通報は、基本的に指令センターで受理出来ませんが、通報場所によっては、他県又は県下の他の消防署に入る場合がありますので注意してください。
- ★サイレン吹鳴についても、指令センターで一括操作します。  
サイレン吹鳴地域は、「南島原市」「島原市」「雲仙市（旧国見町、旧瑞穂町）」です。  
火災の場合、サイレンを吹鳴し防災無線でも放送します、又火災が鎮火した場合も同様に、鎮火サイレン（旧加津佐町を除く）を吹鳴し放送します。
- ★火災情報はTEL62-6200に電話すると、火災の発生場所を聞くことができます。

### 119番へ通報する時のかけ方

#### 火災の時

- (消防署) 火事ですか？救急ですか？  
(通報者) 「火事です」
- (消防署) 場所はどこですか？  
(通報者) 「〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地です。」  
※目標物等を教えてください。
- (消防署) 何が燃えていますか？  
(通報者) 「家、車、山が燃えています。」
- (消防署) 逃げ遅れやけが人はいませんか？  
(通報者) 「女性〇名2階にいます。」
- (消防署) あなたの名前は？  
(通報者) 「消防太郎です。」
- (消防署) 今おかけの電話番号は？  
(通報者) 「〇〇-△△△△です。」

#### 救急の時

- (消防署) 火事ですか？救急ですか？  
(通報者) 「救急です」
- (消防署) 場所はどこですか？  
(通報者) 「〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地です。」  
※目標物等を教えてください。
- (消防署) どうされましたか？  
(通報者) 「〇〇が息苦しいと言っています。」
- (消防署) 患者の氏名・性別・年齢は？  
(通報者) 「島原太郎・男性・30才です。」
- (消防署) かかりつけの病院ありますか？  
※かかりつけの病院があったら教えてください。
- (消防署) あなたの名前は？  
(通報者) 「消防太郎です。」
- (消防署) 今おかけの電話番号は？  
(通報者) 「〇〇-△△△△です。」

お問い合わせ 島原地域広域市町村圏組合 消防本部 指令課  
TEL 0957-65-5151



## 最新設備で市民の安全を守る

昨年から建築工事が進められていた消防庁舎がこのほど完成し、  
みなさんの命と財産を守る最新の設備が整いました。

# 新 消防 舎 竣工

島原地域広域市町村圏組合



- 新庁舎の概要
- 建物名称 島原地域広域市町村圏組合消防本部・島原消防署
- 〒855-0033 島原市新馬場町872番地2  
(代) TEL0957-62-7711  
FAX0957-62-3133
- (本部) 予防課／TEL0957-62-5857  
警防課／TEL0957-62-3080  
指令課／TEL0957-65-5151  
島原消防署／TEL0957-62-0119

敷地面積	4,533.50㎡
建物規模	〈庁舎棟〉鉄筋コンクリート4階建 3,752.08㎡ 〈訓練塔〉鉄筋コンクリート5階建 308.68㎡ 〈車庫棟〉鉄骨造平屋建 126.00㎡
総事業費	1,396,847千円 〔財源内訳〕 国庫補助金 96,663千円 合併推進債 863,100千円 施設整備基金 437,084千円
主な階別用途	主な階別用途 〔1階〕緊急車庫・救急隊室・仮眠室・研修室 〔2階〕消防署事務室・救急訓練室・会議室・食堂兼待機室・訓練塔(副) 〔3階〕本部事務室・高機能消防指令センター・会議室・災害対策室 〔4階〕多目的ホール



■ 3階 高機能消防指令センター



■ 訓練塔



■ 2階 救急訓練室



■ 4階 多目的ホール

昭和44年に建築された消防庁舎の老朽化に伴い、移転準備を進め、昨年からは建築されていた新消防庁舎がこのほど完成しました。  
新しく誕生した庁舎は、その規模もさることながら、高機能通信指令システムの構築や訓練施設など、内容も格段に充実しています。高機能通信指令システムについては、すべての緊急車両の現在位置を把握しており、それが瞬時にモニターに映し出され、現場に最も近い火災や救急現場へ急行させることにより、到着時間の短縮が期待できます。  
訓練施設については、高層ビル火災などを想定した屋外訓練が可能な訓練塔も併設されており、救急隊員の訓練活動に活用されます。また、一般市民の方も申し込みにより、多目的ホールなどで24時間いつでも指導訓練が受けられます。  
ほかに施設の地下には100トンの水槽があり、飲料水以外はボーリング水でまかなえるように備えています。